



平成 29 年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 2月号

みやがや

< 学校教育目標 >

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切に、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

ありがとう

校長 奈良輪 孝雄

ウォルトディズニーは、「人は汚いところでは平気で汚すけれど、いつもきれいで整理整頓されているところは絶対に汚さない」という考えを持っていました。ディズニーランドの園内の清掃に携わるキャストのことを「カストーディアル キャスト(custodial cast)」と呼ぶそうです。カストーディアル キャストは、もちろんその理念を遂行しているのですが、実際は、ほとんどごみが落ちておらず落ちていてもポップコーンくらいだそうです。では、そこにどのようなミッション(mission)があるのでしょうか。

ごみを拾おう(Give your “step” for picking up trash ahead)

写真を撮ろう(Give your “1 finger” for taking pictures)

案内しよう(Give your “a call” for your happiness)

この3つがカストーディアル キャストの役割で、1日平均で20km歩き、150～200名のゲストと話をするそうです。「写真をお撮りしましょうか。」「何かお困りですか。」と声をかけると、ゲストから魔法の言葉が返ってくるのだそうです。

「ありがとう」

通常お店などでは、従業員が顧客に「(御来店)ありがとうございます。」ということが多いですが、ディズニーでは、「相互のありがとう(ございます)の場」を創ることが大切であると言っているのです。カストーディアル キャストは、そこに居場所を感じ安心感もちます。そして自己有用感を感じるそうです。仕事には2段階あり、やらなくてはならないことは作業(Duty)であり、いつだれがやっても同じ結果を生む仕事で、その上に役割(Mission)があるそうです。それは、自分の頭で考える本来の仕事であり、重要視しているとのことでした。ディズニーのキャストは、いつもこう問われるそうです。

What is your mission?(あなたの役割は何ですか。)

一人ひとりが自己実現のために、自己の役割を考えそれを遂行していくことの重要性を改めて学びました。誰もが必ず存在意義とその役割をもっています。子どもも、自分の良いところをたくさんみつけ、学校・家庭・社会の中での役割を明確にしていく教育をしていきたいと思えます。

年度初めに職員へ「あいさつがあふれ、和やかな中にも緊張感と気遣いのある充実した職場を創りましょう」と伝えました。子どもと職員・保護者と地域の皆様が相互に「ありがとう」などのあいさつにあふれる学校にしていきたいと思えます。

1月22日の大雪では、翌日の早朝から通学路などの雪かきを多くの地域の皆様に御協力いただきました。おかげさまで本校児童に大きな事故もなく安心しました。ありがとうございました。また、職員と共に学校の周囲を雪かきしていると通勤途上の方々から「御苦労様。」「ありがとうございます。」など温かい言葉を多くいただきました。なぜディズニーではカストーディアル キャストの自己有用感が高まるのかの理由を実感しました。まさに魔法の言葉「ありがとう」でした。これからも、相互のありがとうの場が多くある学校にしていきたいと思えます。

(H30.1.19(株)オリエンタルランドで20年間勤務された大住 力様の講演会を聞いて考えたこと)

